

新4K8K衛星放送に関するセミナー



関西デジタル受信・機器委員会では12月4日(月)に、「新たに始まる“BS・110度CS 4K・8K放送”の魅力と受信システム」公開セミナーを開催しました。関西デジタル受信・機器委員会は、映像・受信機器メーカー 11社と1客員(NHK大阪放送局)により構成されます。

新4K8K衛星放送に関する計画と推進状況、受信に要する機器や施工については、テレビ受信向上委員会、総務省、JEITA本部等によるセミナーが各地で開催されています。今回のセミナーは、関西・西日本での啓発に貢献したいとの思いから、当委員会として初めて一般の方々を対象に主催・運営したものです。一般財団法人放送サービス高度化推進協会(略称A-PAB)様、日本放送協会・大阪放送局様、またJEITA本部・テレビネットワーク事業委員会のご協力をいただき、大阪駅に隣接するグランフロント大阪にて開催しました。セミナーでは、委員会の荒浜幹事(三菱電機(株))による司会のもと、西村委員長(シャープ(株))の主催代表挨拶の後、お二方から講演をいただきました。



西村委員長挨拶



会場の様子

講演1 「期待! 待望! 新4K8K衛星放送」

(一社)放送サービス高度化推進協会 4K・8K推進センター長の宇佐美雄司氏より、12月1日(金)に東京で開催された「新4K8K衛星放送開始1年前セレモニー」での発表内容、「機能表示ロゴ」の紹介、NHK・民放の対応コンテンツの状況、市場認知の調査結



果、さらにBS右旋再編と受信機への影響等について、映像等をお見せし、具体的な説明がありました。新4K8K衛星放送の特長と魅力を詳しく伝えていただきました。

講演2 「新4K8K衛星放送 2020年に向けたロードマップと受信システム」

NHK大阪放送局 技術部 副部長の堀内義隆氏より、新4K8K衛星放送の特性と、受信機材の要件、さらに電波漏洩対策など、機器販売と施工に直結する技術情報の説明がありました。普及推進に向けたマーケティング視点の情報や、同局で行われている関連のイベントも含め、わかりやすく紹介いただきました。



会場も好立地で、家電量販店や電機メーカー販売会社(関西本部組織マーケティング部門)を中心に、通信事業者、CATV事業者、設計事務所の方など101名が事前登録、当日は86名の来場がありました。

集計したアンケート(85件)では、新4K8K衛星放送と、対応機器のビジネスには高い期待があります。対応チューナー等の早期発売や助成金など普及促進制度の具体化を望む声も聞かれました。

委員会では、今後も、制度や対応製品の拡充タイミングをとらえ、A-PAB、NHK大阪放送局と連携の下、関西・西日本での新4K8K衛星放送の認知・普及向上活動に取り組んでいきたいと考えております。



講師ならびに委員会メンバー